



NAKA-KU

令和8年3月

第18号

中区民児協だより



～令和7年12月1日委嘱状伝達式会場にて～

【～新たな任期に臨んで～】

令和7年12月1日に3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、167名(うち主任児童委員23名)が厚生労働大臣および横浜市長から新たに委嘱されました。

小さな気づきと寄り添う心を基本に、地域のつなぎ役として活動しています。地域の方々の生きてきた背景を想い、自分らしく生きることのサポートができればと思っています。赤ちゃんから高齢の方まで、安心・安全そして笑顔あふれる暮らしを支えるため、委員一同、関係機関と共に力を合わせて取り組んでまいります。

(中区民生委員児童委員協議会会長 梁田 理恵子)



(注)本文中、「民生委員・児童委員」は、「民生委員」と表記する場合があります。

「富岳の園(静岡県御殿場市)」施設見学報告

令和7年10月17日

静岡県御殿場市の障害者支援施設「富岳の園」を訪れ、利用者の自立と社会参加を目指す取組を見学してきました。施設では体育や文化芸術活動を取り入れた療育を行っており、特に和太鼓演奏はリズム感や協調性を育てるだけでなく、地域イベントでの発表を通じて社会とのつながりを深める機会となっているそうです。



ダイナミックな演奏に感動

また、製菓やパンづくりの作業を通じて利用者が製品づくりに参加し、地域販売会や施設内ショップで販売することで品質向上や工賃アップを目指しています。



目を見張る絵画作品の数々

さらに、地域の子どもや高齢者との交流イベントを開催し、太鼓演奏や製菓体験を通じて異世代交流を促進するなど、障害の有無に関わらず楽しめる場を提供し、



地域で評判の焼き菓子

地域とのつながりを大切に活動していました。こうした取組によって、利用者は社会参加への自信を持ち、地域では多様性を受け入れる文化を広げており、みんなと一緒に暮らせる社会につながっていると感じました。

(中区民児協研修部会)

～編集後記～

令和7年12月1日から、民生委員・児童委員は新しい期をスタートしました！

民生委員・児童委員の活動では、高齢化や子育て世代の孤立、つながりの希薄化など、様々な課題と向きあいます。でも、そんなときこそ、委員みんなで声をかけあって相談しながら、地域の一人ひとりを大切にしていきたいと思っています。

たとえば、朝の「おはよう」や、ちょっとした「元気ですか？」の声かけが、誰かの心を温めることがあります。「最近、顔を見ないけどどうしているかな？」そんな小さな気づきが、安心につながることもあります。民生委員・児童委員の活動は、そんな日常の中で生まれる「つながり」を大切にすることから始まります。

これからも、笑顔と安心が広がる中区を目指して、前向きな気持ちを忘れず、楽しく協力しながら活動していきましょう。

(中区民生委員児童委員協議会事務局 M)

(編集：中区民生委員児童委員協議会 広報部会)

(発行：中区民生委員児童委員協議会 中区福祉保健課運営企画係内 横浜市中区日本大通35 TEL：045-224-8151 FAX：045-224-8157)

民生委員の活動について

民生委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤公務員であり、ボランティアです。誰もが安心して暮らせる地域を目指し、「相談、支援」「関係機関へのつなぎ」など様々な活動を行なっています。

【関内地区 活動報告】

～笑顔と元気があふれるまちへ～

関内地区では地域の皆さんが顔見知りとなり、笑顔が繋がるまちを願って様々な活動を展開しています。今年度新しく「いきいきルンルンうたのかい」を催しました。ピアノ伴奏で懐かしい名曲から最近のヒット曲まで歌います。青春時代の思い出もよみがえるひとときです。



笑顔で真剣勝負！

さらに「関内シニアカフェ」では、健康麻雀を通じて親睦を深めながら脳を活性化。勝負の駆け引きに笑い声が弾み、自然と会話も広がります。ここは、心も頭もリフレッシュできる憩いの場になっています。そのほか、筋力アップを目指すフレイル予防体操や、世代を超えて交流できるおしゃべりサロン、街全体が笑顔で包まれるハロウィンパレードなど、楽しい取組が盛りだくさん。関内地区は、これからも皆さんと一緒に素敵な時間をつくっていききたいと思います。

(関内地区会長 倉石 尋子)



懐かしいメロディに心も弾みます

【石川・打越地区 活動報告】

～世代をつなぐ地域づくりを目指して～

石川・打越地区は、JR石川町駅を中心に東西に広がり、地域のつながりづくりを目的に多様な活動を行っています。高齢者向けには、民生委員と地域有志が協力し、月1回の「ふれあいサロン」や隔月開催の「健康会食会」を通じて、交流と健康づくりを支えています。また、困りごとお助け隊として始まった「ほっと石打」は、高齢者宅の草刈りなどの作業に加えて、スマホ・パソコン教室や健康麻雀を実施しています。特に健康麻雀は毎回チラシを見て新規参加者が訪れるなど好評で、地域のつながりを深める場となっています。児童に関する活動については、地区内に公立小中学校や子ども会がないため、児童中心の取組は難しい状況です。しかし、子育て支援ネットワークを立ち上げ、主任児童委員などを中心にラジオ体操後のゲーム大会など活動を少しずつ進めています。



お囃子グループを招いて手作り神輿でワッショイ

今後は、乳幼児から若いパパママ世代、高齢者まで、縦横につながる関係を築き、民生委員・地区社協・町内会が協力し、地域全体でより豊かな交流の場を広げていききたいと思います。

(石川・打越地区会長 梁田 理恵子)

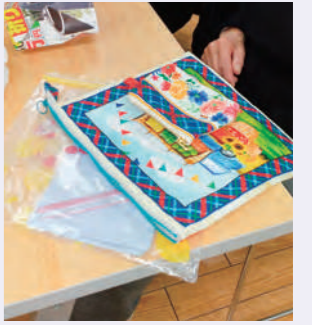


ポッチャのルールは簡単！

【第六地区 活動報告】

～世代を超えて、笑顔でつながる地域へ～

第六地区民児協では、民生委員・元民生委員・ボランティアのメンバーが中心となり、山元小学校コミュニティハウスにて月2回「ふれあいサロン」を開催しています。内容は手芸・ぬり絵・麻雀・カラオケなど多彩で、毎回多くの参加者にご好評いただいています。特に麻雀とカラオケは人気が高く、笑顔あふれる交流の場として地域に定着しています。また、特別企画としてタクシー旅や日帰り旅行など、地域の方々が楽しめるイベントを企画・実施し、孤立防止や地域福祉の充実につなげています。



素敵なポーチが出来上がりました

さらに、世代間交流の取組の一環として、山元小学校と連携し、年6回の「ふれあい交流会」や年2回の「給食会」を実施しています。子どもたちと高齢者が



子どもたちとの楽しいひと時

一緒に過ごすことで、世代を超えた温かな交流が生まれ、参加者からも喜びの声が寄せられています。

今後も、誰もが安心して参加できる雰囲気づくりを心がけ、世代を超えた交流を促進しながら地域の絆を深めていきます。さらに、より多くの方に楽しんでいただける魅力的な行事を企画し、笑顔とつながりが広がる地域づくりに取り組んでいきます。

(第六地区会長 長沼 敏恵)

【主任児童委員連絡会 活動報告】

～健やかな育ちを見守ります～

主任児童委員連絡会では、毎年テーマを設定して、施設見学研修を行っています。今年度は「少年非行・犯罪の理解と非行防止への取組」をテーマに、令和7年9月29日(月)、横浜少年鑑別所・よこはま法務少年支援センターに行ってきました。少年鑑別所は罰する場所ではなく、心理検査や面接を通じて少年の立ち直りを支援する施設であることを改めて理解しました。法務教官の方々が生活全般に細やかに目を配り、変化を見逃さず働きかけていることに感銘を受けました。



「よこはま法務少年支援センター」ホームページより

さらに、地域での非行防止に向けた「法務少年支援センター」の役割を知り、地域全体で支える仕組みの重要性を強く感じました。この学びを生かし、主任児童委員として、必要に応じて相談につなぎ、地域支援の一翼を担えるよう努めていきたいと思っています。

(主任児童委員代表 後藤 清子)



みんなのつながりを大切に活動しているよ！

横浜市民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」



中区民生委員児童委員ホームページ